

独立行政法人自動車事故対策機構の令和6事業年度業務実績評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、主務大臣による令和6年度の総合評価が「B」評価であったこと等を踏まえ、役員の解任等は行わなかった。
----------	---

2. 法人の運営、予算への反映について

評価項目	令和6事業年度業務実績評価における主な指摘事項	令和7年度及び8年度の運営、予算への反映状況
国民に対して提供するサービス その他業務の質の向上に関する事項	療護センターにおける研究に対しては、より一層ナスバと連携し進めてほしい。	療護センターの研究について、日本脳神経外科学会や日本意識障害学会等における研究発表の進捗管理を行うとともに、療護センターの医師、看護師など職種別会議（ナスバ主催）において学会発表抄録集を配付して議論を行うなどの連携を通じて、研究の促進に積極的に取り組んだ。また、療護センターにおける研究の促進を一層進めるため、研究に適した医療機器を調達する場合には、ナスバで調整し、事前に療護センター間で当該医療機器の情報を共有させるなど、ナスバと療護センターで連携して研究に取り組んでいる。
	重度脊髄損傷者に係る受入環境整備の事業を進めるにあたっては、脊髄損傷者の治療等について知見を多く有する医療機関とも積極的に連携するべき。	重度脊髄損傷者に係る受入環境整備の事業（モデル事業）の実施にあたっては、事業開始より重度脊髄損傷者の治療・リハビリテーション等に関する知見を有する複数の医療機関（受託病院含む）と密に連携を行ってきたところである。 しかしながら、外部有識者のご指摘を踏まえ、より多層的な知見を得るために、上記機関に加えて、横断的なコミュニケーションを目的に、脊髄損傷者の受入れ実績を豊富に有するとともに、同じ独立行政法人である労働者健康安全機構吉備高原医療リハビリテーションセンターにも働きかけを行い、意見交換や視察

		を実施したところ。 今後も、上述の医療機関との連携をより一層強化し、実効性の高い事業となるよう取り組んでいく所存。
	（自動車アセスメントの）ホームページの内容について、より自動車ユーザー目線に立って考えてほしい	ナスバ HP の「守る」ページについては、国土交通省の外部有識者委員から同ページが高齢者にとってわかりにくいとのご指摘を頂いたところである。このご指摘を踏まえ、高齢者及び大多数の自動車ユーザーにとって使いやすく、見やすい「守る」ページとするため、令和 7 年度においてデザイン変更に向けた要件をまとめたところである。令和 8 年度においては、次の段階としてナスバ HP の運用保守事業者においてデザイン変更に向けた実装作業を行う予定であり、同年度中のリリースを目指すこととしている。
業務運営の効率化に関する事項	なし	—
財務内容の改善に関する事項	なし	—
その他業務運営に関する重要事項	アウトリーチ広報における関連団体との連携は今後強化するべき。	自動車事故被害者の有効な情報経路の調査・分析を行うとともにホームページや SNS、パンフレットによる周知の他、関連団体と連携した周知活動は継続している。令和 7 年度においては、日弁連交通事故相談センターの本部研修会で弁護士向けにナスバの業務説明を実施したところ、参加した弁護士経由でナスバ療護施設への入院につながった。また、全国にあるナスバ支所と最寄りのセンター相談所（全国 155 相談所）が相互にリーフレットを設置するなど地域レベルでも連携した広報活動を展開している。